

生き直し通信

Vol.3

平成30年10月

発行：一般社団法人生き直し

会員数：21名

寄付（物資等）支援者数：10名

リディラバツ
アーにて講師
として出所者
のことを語っ
た際の写真



現在までに5名の刑余者の受け入れ

一般社団法人生き直しでは、自立準備ホーム生き直しへ入居した方々の支援を行っております。

皆さまから頂いた会費を使い、備品や食料（お米等）を購入する代金にさせて頂いております。



自立準備ホームとは

自立準備ホームは、あらかじめ保護観察所に登録された NPO 法人、社会福祉法人などが管理する施設の空室等を活用し、行先のない刑余者の帰住先・定住先を確保するための「緊急的住居確保・自立支援対策」として 2011 年度から開始された更生保護分野の制度。＊平成29年4月時点で登録事業者数が375。2万人以上の出所者がいて利用者はたったの1500人という現状。



しかし刑務官に気に入られていないと不当に賃金が安くなったり、備品（タオル等）の値段がかなり高く設定されているため、実際には年間で1万円ぐらいしかたまらないとも言われている。

その理由はこうだ。

「刑務官に気に入られると仮釈（仮釈放）をもらえるから」

実際に刑務所に行つて資格を5個も持つてた出所者の方に話を聞いたところ、

「当たり前じゃないですか。早く出るためには資格を取つてオヤジ（刑務官）に気に入られるようにしないと仮釈もらえないっすから。」と

刑務所内での資格取得が外に出た際に全く役に立っていない現状はやはり打破する必要があるのではないだろうか。

出格の所持者の中、は、人、ものよ、す、出く、格を、く、つ、さん、の、彼、

受刑者の資格取得制度は
本当に必要か？

実は受刑者はご飯を食べる際、箸先を人に向けるのが失礼にあたるということから、必ず箸先を自分に向ける慣習がある。

なので、箸先を自分に向けている
人がいたらその人は出所者かもし
れないので、暖かく見守ってくだ
さい！！



A photograph of a traditional Japanese room, likely a futon room. Two futons with light blue covers are laid out on a tatami floor. The walls are made of light-colored paper (washi) with dark wood framing. A sliding door (fusuma) is visible in the background, and a shoji screen is on the right side. A small air conditioning unit is mounted on the wall above the shoji.



7月3日のオープン以来、自立準備ホーム生き直しでは5名の刑余者の受け入れを行ってきました。現在2名が入居中。

A woman with long brown hair is sitting on a white metal railing at night. She is wearing a light-colored, long-sleeved top and a light blue skirt. She is holding a small, light-colored dog in her arms. To her left, a bicycle with a black basket is parked. The background is a dark, fenced area with some lights visible through the fence. A white triangular graphic with a blue and black pattern is in the bottom right corner.

刑務所に行き、売春から抜け出せなくなる女性がたくさんいるので、今後は女性の出所者が住める家をなんとか作りたいと考えている。



てっとり早く稼ぐには
売春

○ 女性の受刑者は出所後どうなるのか？

毎週土曜日に駆け込み寺主催のバトロールをしているが、その際、立ちんぼ（売春をしている女性）に会うことがしばしばある

彼女たちに、話を聞くと実際に刑務所から出てきて仕事がなくて売春という道に進んだ人もちらほら。

左記のような流れで売春に向かってしまうそう。

「不安解消！出所者支援」という本に 駆け込み餃子のことを寄稿

10月6日発売の

『不安解消！出所者支援-わたしたちにできること』

という掛川直之さん編著の本の中で

『Column⑥出所者居酒屋の挑戦』

として駆け込み餃子のことについて執筆させて頂きました。

駆け込み餃子の立ち上げの苦勞から現在に至るまでを執筆させていただいたので、ぜひお手に取っていただければ幸いです。

不安解消！出所者支援

掛川直之 編著

わたしたちにできること

駆け込み餃子

旬報社

皆さまの
ご支援ご協力
お待ちしております



④ 家（1戸でも可）

③ 出所後 6 か月以内の出所者

② お米や家に余っている食材等

① 賛助会員（寄付）

○自立準備ホーム生き直しでは、左記のものの寄付を募集しております。



生き直し 代表
千葉龍一

継続寄付始めました！

自立準備ホーム生き直しでは、
【Syncable】というサイトにて継続寄付をはじめました。

月500円から寄付もできますので、ぜひ
ご支援ご協力賜れば幸いです。



* 継続寄付を停止したい場合下記ご参照してくださいませ

◆寄付時にSyncableへの会員登録も行い、マイページを持っている場合

1. Syncable トップ（<https://syncable.biz/home>）右上よりログインする
2. ログイン完了後、マイページを開く
3. マイページ左側メニューバーより寄付履歴をクリック
4. 寄付履歴上部に表示されている「継続支援中の団体」より解除したい継続寄付を選び右上の×ボタンを押す
5. 解除しますか？に対して「はい」をクリック
（PCからご覧頂いた場合を想定しております。
スマートフォンからでもアクセスは可能ですが、操作が一部異なります。）

◆寄付時にSyncableへの会員登録をせず、マイページを持っていない場合

現在、会員登録をされていない場合、ご自身で継続寄付を取りやめる手続きを行うことは出来ない仕様となっています。

誠に申し訳ございませんが、Syncableサポート事務局（support@syncable.biz）までお問い合わせ下さい。

なお、お問い合わせの際に下記の情報をお伝えいただけますと、スムーズにお手続きを進めることが可能です。

- お名前
- ご登録いただいているメールアドレス
- 支援先団体
- 寄付頻度
- 寄付金額